

高千穂大学 教職課程だより

ご挨拶

教職課程運営委員会委員長 松丸啓子

高千穂大学教職課程で学ばれた卒業生教員の皆様、今年度をもってご卒業される皆様、在校生の皆様、そして、様々な活動を通じて本学教職課程にご支援を賜っている皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のことと存じます。皆様の日頃からの本学教職課程運営へのご理解とご協力に対しまして、心より御礼を申し上げます。

この度、『高千穂大学 教職課程だより』第 4 号をお届けすることができました。この『高千穂大学 教職課程だより』の発行は平成 27 年度より開始されておりますが、その主たる目的は、本学の教職課程で学んだ卒業生の皆様と在校生たち、教職員その他の関係者たち相互の交流の輪を広げ、絆を深めるとともに、本学教職課程における教員養成のさらなる充実と活性化を企図することにございます。そのような趣旨からも、本年度におきましても引き続いて『高千穂大学 教職課程だより』を発行することができましたことを、本学の教職課程運営に携わる者の一人として大変喜ばしく感じております。

昨年度より、例年 2 月に開催されている「教員採用試験合格報告会」と同日に「高千穂大学卒業生教員と教職履修学生との情報交換会（高千穂大学卒業生教員の会）」を開催するようになりましたが、今年度も、第 I 部の「教員採用試験合格報告会」において今年度の教員採用試験合格者による報告を卒業生教員の皆様にも一緒にお聴きいただいた後、第 II 部の「高千穂大学卒業生教員と教職履修学生との情報交換会（高千穂大学卒業生教員の会）」において在校生たちと個別に交流もしていただき、おかげさまで非常に有意義な時間を共有することができました。お忙しいところご来校いただいた卒業生教員の皆様、誠にありがとうございました。まだまだ至らない点多々あったかとは存じますが、そうした点を徐々に改善しながら、さらにより良い会合を実施できるよう努めてまいりますので、今後とも皆様のお力添えを賜れば幸いです。

今般の教育改革の柱の一つとして「教員の資質向上」が強調されておりますが、今後は“学び続ける教員”を支えるキャリアシステムの構築が模索されることになる見通しです。こうした流れの中で、本学教職課程においても教員免許状更新講習の開設についての検討が進みつつあります。可能な限り、卒業生教員の皆様にとりましても受講しやすい環境を整え、充実した講習内容を実現するよう努めてまいりたいと考えておりますので、ご要望等がございましたら、ぜひお聞かせいただければと存じます。

昨年 4 月からは待望の「教職相談室」も開設され、本学の教職課程関係の環境は年々整備されてきております。そうした環境をフルに活かしていくためにも、ぜひ卒業生教員の皆様との連携をさらに密にしていきたいと思いますので、今後とも皆様の多大なご支援を賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

(人間科学部教授)

教育実習報告会（7月1日）

平成29年度7月1日（土）「教育実習報告会」を開催し、教育実習を終えた全学生の中から3名、商学部4年Nさん、人間科学部児童教育専攻4年Wさん、人間科学部児童教育専攻4年Tさんから、教育実習の報告を受けました。Nさんからは主に商業科授業や高等学校での教育実習などについて、Wさんからは小学校での実習などについて、Tさんからは研究授業での取り組みなどについて報告を受けました。発表を聞き、学生たちも大変刺激を受けたことと思います。

最後になりますが、実習生を受け入れていただきました学校及び先生方に深く感謝申し上げます。

※本報告会の様子は「Quarterly 高千穂」64号にも掲載されています。そちらもご覧ください。

<http://www.takachiho.jp/library/outline/quarterly/64.pdf>

（鈴木隆弘）

教員採用試験合格報告会（2月10日）

2月10日（土）に、セントラルスクエア2階のタカチホホールにて、教員採用試験合格報告会が行われました。笹金学長の挨拶で始まり、①教員採用試験合格の体験報告、②卒業生教員の教育実践報告、③卒業生教員による講評と続き、松丸啓子教職課程運営委員長の挨拶で閉会となりました。参加者は、学生74名、学内教職員21名、卒業生教員10名でした。

①の合格体験報告は、いずれも大学推薦によって教員採用試験に合格した、人間科学部児童教育専攻の4年生三人にさせていただきました。神奈川県に合格したKさん、横浜市に合格したOさん、埼玉県に合格したYさんです。報告は、それぞれにパワーポイントを使ってなされましたが、その内容は、合否発表までのスケジュール、個人面接や模擬授業などの試験の内容、準備のために用いたテキスト類、仲間と一緒に行った勉強会などに関するものでした。

②の教育実践報告は、杉並区の小学校にご勤務のY先生と、埼玉県の高등학교にご勤務のN先生にさせていただきました。Y先生からは、「追い読み」「起立読み」「向き変え読み」などのゲーム性をとり入れた国語の授業や、「あいさつの門」「九九の門」などをとり入れた学級経営のことが、N先生からは、「資格を活かし未来を拓く」を謳っている商業高校らしく、検定試験の指導に関することが報告されました。

③の講評は、東村山市の小学校にご勤務のT先生と、新潟県の高등학교にご勤務のI先生にさせていただきました。T先生は、前記の4年生三人の良いところをそれぞれに指摘してくださいましたし、I先生も、ご自分の経験を踏まえつつ、「さらなる努力を」「さらなる飛躍を」など、三人を温かく励ましてくださいました。

振り返ってみると、4年生の報告は、内容に広がりや深まりが見られ、いずれも後輩学生の受験に役立つものであったと思います。また、卒業生教員による教育実践報告と講評も、教職の魅力を伝えるとともに、教員を目指している現役学生を豊かに刺激するものであったと思います。

実践報告や講評をしてくださいました卒業生の皆様、そして、体験報告をしてくださった4年生の皆さん、どうもありがとうございました。

(松丸修三)

卒業生教員の会 (2月10日)



上記、「教員採用試験合格報告会」に続き、「卒業生教員の会」を開催いたしました。昨年度より始めた現職の先生方と現役学生との交流を図る機会ですが、今年度は教職課程新規履修が決まった直後の1年生にもその参加を広げ、積極的な交流がなされました。藤井耐理事長の挨拶の後、笹金光徳学長による乾杯の挨拶に続き、ご参加いただいた全卒業生教員の方々からご挨拶をいただきました。深く感謝申し上げます。

また、昨年度は現役学生として参加していた、新任一年目の卒業生教員の方々も多く参加くださり、盛り上げてくださいました。また、ご参加いただきました理事長、学長、先生方に感謝申し上げます。
(上野泰治)

○ 本年度教員採用者について

平成29年度新規教員採用者は4名(3月16日現在 教務課把握分:非常勤講師採用者含まず)です。卒業生教員の皆様におかれましては、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

<小学校教諭採用>

＜本学教職課程の概要について＞

(1) 取得可能な免許種

高千穂大学教職課程では、現在、以下の免許を取得することができます。

学部	専攻	取得可能な免許種
商学部		高等学校（商業）／高等学校（公民）／高等学校（地理歴史）／中学校（社会）
経営学部		高等学校（商業）／高等学校（情報）
人間科学部	人間科学	
	児童教育	小学校（全科）

※ 免許状はすべて一種教育職員免許状。

※ 商学部では、高等学校（情報）／経営学部では、高等学校（公民）（地理歴史）・中学校（社会）免許状取得も可能。

(2) 年間行事

教職課程では、教職課程運営委員会の下、主に以下の行事を実施しています。

月	行事	内容
4月	履修ガイダンス	春学期履修に向け、学年ごとに実施します。
7月	教育実習報告会	教育実習を終えた学生から、教育実習の体験をお伺いします。
8月	教員採用試験対策講座	教員採用を目指す3・4年生の希望者を対象に、採用試験対策講座を行っています。
11月	新規履修者オリエンテーション	新規履修希望者向けにオリエンテーションを実施しています。
2月	教職課程新規履修者面接	教職課程新規履修希望者を対象に、面接を行い、履修の可否を決定します。
	教員採用試験合格報告会	教員採用試験合格者及びお招きしたOB・OG教員より、合格までの道のりや教員生活の心構えなどをお話頂きます。
	卒業生教員の会	

※教職課程履修者は「履修ガイダンス」「教育実習報告会」「教員採用試験合格報告会」参加が義務付けられます。

卒業生及び卒業された皆様へ

- 勤務先の変更・ご自宅の住所変更時
 - 「学力に関する証明書」「単位取得証明書」等、証明書が必要な時
 - 教職課程及び就職課に対する、私立学校からの求人を知りたい時
- 以上の際には、学務部 教務課（TEL:03-3313-0146）までお問い合わせください。

＜目次＞

- ご挨拶・・・・・・・・・・・・・p.1
- 行事紹介・・・・・・・・・・・・・p.2～3
- 本年度教員採用者について・・・p.3
- 事務連絡・奥付・・・・・・・・・・p.4

「高千穂大学教職課程だより」 第3号 平成29年3月20日発行
 ＜平成29年度 教職課程運営委員会＞

委員長 松丸啓子
 常任委員 鈴木隆弘 委員 上野泰治 委員 楠美将彦
 委員 小林康一 委員 松丸修三 教務課 北田大介

(本年度編集担当：鈴木・松丸啓子)